



緑のまち

第39号

平成25年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

<http://www.hinoryokka.org/>



安心して潤いのある街



公園愛護会が活動 (多摩平第2公園)

公

協働

民

みんなで公園を綺麗にしよう

平成24年度 決算

収 益	基本財産運用益	292,218円
	事業収益	19,578,465円
	受取補助金等	21,735,024円
	受取寄付金	73,939円
	雑収益	11,527円
経常収益計		41,691,173円
費用	事業費	37,336,530円
	管理費	4,317,257円
経常費用計		41,653,787円

平成25年度 予算

収 益	基本財産運用益	280,000円
	事業収益	19,380,000円
	受取補助金等	21,676,000円
	受取寄付金	301,000円
	雑収益	16,000円
経常収益計		41,653,000円
費用	事業費	37,495,050円
	管理費	4,415,008円
経常費用計		41,910,058円

職員紹介

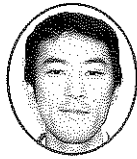
(写真は上段から時計まわりで小林・関根・市川・富沢・伊牟田)

緑化協会では常時5人の職員が市内花壇等の植付けや公園清掃などを行っています。

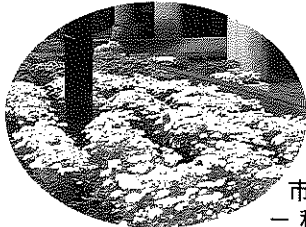
街中で協会の車や職員を見かけたら、お気軽に声を掛けて下さい。

「皆さんから『お疲れ様!』など声をかけて貰うと疲れも飛ぶ」と話す5人です。

ここでは、そんな現場職員の主な作業を紹介します。



作業車両



【写真】
市役所前花壇
- 秋花壇(菊) -

公園清掃……市内121公園を担当。清掃・除草・設備点検などを行います。

花卉植付……合計70カ所に年3回～4回の植付けを行います。

菊栽培……日野市の花「菊」の親苗を育て、2万株近くに増やして学校や公共施設、菊花コンテスト用に配布します。

腐葉土・

肥料の製造……緑化協会では販売する腐葉土と乾燥肥料を製造します。

その他……各種事業のお手伝い、菊花コンテストやスプリングフェスタなど、現場職員が大きな役割を担っています。

緑の募金

今年も自治会・老人クラブ・各事業所等をはじめ、多くの方々に善意の気持ちを頂きました。

お預かりした募金は、東京緑化推進委員会に納入して森林整備や緑化推進等に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内公共施設や花壇への花卉植付けなどに役立させていただきます。

皆さまのご協力、ありがとうございました。

●平成25年度募金総額(平成25年10月現在)

1,650,064円

※腐葉土・肥料販売※

(放射性物質検査を行い安全な腐葉土を販売しています)

腐葉土

公園の落ち葉を利用して、約2年間かけて作ります。

約20ℓ → 400円

約4ℓ → 100円

乾燥肥料

油粕・魚粕・米ぬかを原材料に発酵させて作ります。

約400g → 100円

固形肥料

化成肥料を少量ずつ販売しています。

配合は窒素：リン酸：カリが5：5：5です。

約160g → 30円

平成25年度事業実績

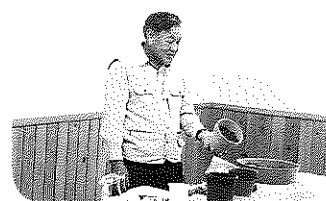
緑のリサイクル

緑の有効利用を目的に、市民から提供された球根や苗、植木等を市民の皆さまに配布しました。今年も大勢の市民より105種類、816点の植物をご提供いただきました。4月20日（土）緑のリサイクル当日には延べ320名が来場されました。また、腐葉土、肥料の販売とみどりの健康相談を行いました。



菊の育て方講習会

菊花コンテストに参加していただくため、日野市菊友会より講師を迎え7月に「大菊の育て方講習会」8月に「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」を行いました。菊の植付け方、肥料の与え方、病害虫の防除などについて教えていただきました。大菊の講習会の受講者には大菊の苗を配布しました。



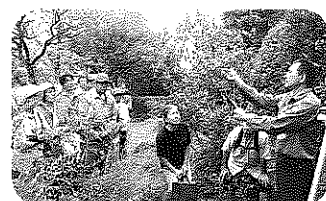
ポットマム・スプレー菊苗の市民配布

日野市の花「菊」の普及と11月に開催される菊花コンテストに参加していただくよう、ポットマム・スプレー菊の苗を配布しました。会場は、緑化協会事務所前、JA東京みなみ七生支店、JA東京みなみ平山農産物直売所、旭が丘公園、市民陸上競技場の5カ所でした。また、菊苗植付けに必要な腐葉土と肥料の販売も行いました。



庭木の手入れ講習会

庭木の剪定の時期、目的、効果及び道具の使い方等についての講習会を行いました。10月10日（木）日野緑進会より講師を迎え、緑化交流センターにて講義後、中央公園内にある緑化見本園で剪定の実習を行いました。庭木の剪定のポイントは、木の特性と生育サイクルを知り正しい時期に定期的に行う事だそうです。



平成25年度 今後の事業予定

緑の写真展

平成25年12月2日（月）～12月10日（火）

場所：市役所1階市民ホール テーマ1「日野の四季」 テーマ2「わが家の緑」
今年も市民の皆さまの応募作品が展示されます。是非、ご覧ください。

稲わら竹細工講習会

平成25年12月19日（木）開催

稲わらと竹を使い、ミニ門松を作ります。*詳細は「広報ひの」12月1日号掲載

春の草花管理講習会

平成26年2月6日（木）開催予定

ご家庭で育てる春の草花や果樹の管理方法等について学んでみませんか？
*詳細は「広報ひの」1月15日号掲載予定

ガーデニング講習会

平成26年3月13日（木）開催予定

花と緑を楽しむためにガーデニングについて学んでみませんか？
*詳細は「広報ひの」3月1日号掲載予定

スプリングフェスタひの

平成26年3月29日（土）・30日（日）開催予定

日野中央公園にて各種イベントや市内商工業者等による模擬店が出店されます。
*詳細は「広報ひの」3月15日号掲載予定

※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。（<http://www.hinoryokka.org/>）

第9回 ガーデニングコンテスト

近年、私たちを取り巻く気象環境も大きく変わり猛暑と暖冬で、ガーデニングをされる皆さんにとっても植物にとっても、大変だと思いますが、愛情をたっぷり注いだ素敵な作品を多数応募いただきました。受賞者は右記のとおりです。

是非、来年も多くの方々のご参加をお待ちしています。

日野市長賞《板谷宅庭》
『バラ色の風に吹かれて』

日野市議会議長賞《走井宅庭》
『バラと季節の花の庭』

受賞者一覧 (敬称略)

賞名	氏名
市長賞	板谷モア
市議会議長賞	走井孝子
環境緑化協会理事長賞	田中努
審査員特別賞	小構公園愛護会



《審査員》

熊沢 僑一郎
(日野緑進会)
濱田 豊
(NHK「趣味の園芸」講師)
大塚 眞実
(グリーンアドバイザー)

協会理事長賞《田中宅庭》
『バラの庭』



《一次審査》 5月16日

審査員が応募いただいた写真、コメント等で審査を行いました。



《二次審査》 5月21日

一次審査を通過された方のお庭を審査しました。



ガーデニングコンテスト 応募作品写真展

5月27日～6月6日

日野市役所1階ロビーにて参加者全員の応募作品を展示しました。



職場体験学習の実施

日野市立第四中学校の生徒（2年生）による、職場体験学習が9月19日（木）・9月20日（金）の2日間行われました。

生徒たちはハボタンの植付け・公園清掃・花壇の草取りなどを暑い中、一生懸命に作業を行いました。花が咲いたときは綺麗ですが咲かせるまでには色々な課程があることを体験してくれたと思います。これからの進路に役立て貰いたいと思います。



菊花コンテスト



展示期間:平成25年11月6日(水)～11月13日(水)

8月17日市民配布、8月21日老人クラブ配布、9月3日小学校に配布を行い、それぞれが丹精込めきれいに咲かせた作品を市民一般の部・老人クラブの部・小学校の部に分けコンテストを行いました。

平成25年 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	菊地 満子	菊地 邦雄	菊地 満子	悠悠クラブ	悠悠クラブ	第二小学校
日野市議会議長賞	小島 長蔵	富沢 栄子		川北クラブ	平山長生会	第六小学校
日野市教育委員会委員長賞						旭が丘小学校
(公財)日野市環境緑化協会理事長賞	天野 正次	芹沢美栄子	小島 長蔵	久和の美会		平山小学校
日野市老人クラブ連合会長賞				程久保長生会		
日野市菊友会長賞	船木ます子	小林美津子				
東京南農業協同組合組合長賞	川面 友子	峯岸 郁郎		平山長生会		
日野市菊友会奨励賞			恒川 直己			

応募総数

市民一般の部 42名 77鉢

老人クラブの部 13団体 160鉢

小学校の部 9校 90鉢

表彰式

平成25年11月13日(水)

午後3時30分～

市民プラザ(市庁舎前)

コンテスト参加作品の中から、市長賞、議長賞等24点を表彰しました。

花壇植付け用の花苗作り

協会では、管理しているプランターや花壇に植える花苗(サルビア、マリーゴールド、コリウス、カサ菊、ハボタン等)を栽培しています。

花苗作りは土作りから始まり、種蒔き、灌水、温度管理、害虫駆除、病気対策等を経て花壇に植付けできる花苗となります。花苗を育てるのは大変ですが、見事に育った花を見ると、日頃の苦勞も忘れず。



花壇愛護会紹介

吹上公園にある花壇は、当協会の花壇愛護会に登録している吹上自治会の方々が管理してくださっています。「地域の繋がりを大切に」と、月2回の活動日には花壇管理と公園清掃を小さなお子さんからご老人まで、幅広い年齢の方々が一体となり行っています。おかげさまでこの公園の花壇は今年の酷暑の時も花が枯れる事なく、綺麗に咲いていました。

作文集 「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に

二、五五四名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査員により入選作一〇四編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

自然と便利の

ある日野

日野第六小学校

四年二組 木村 幸太

僕の母は子供の時、日野に住んでいました。当時は、夜になるとカエルがうるさいほどに鳴っていたそうです。しかし、今は聞くことはありません。カエルがいる田んぼが少なくなってきたからだと思います。

今年の春、自転車の日野バイパスを下まで下りてみました。そこには田んぼがあり、ちょうど田植えをしている真つ最中で

した。一時間ほどで同じ場所を通ると、すでに田植えは終わっていました。昔は田植えは手でしていた時間ばかり腰が痛くなったそうですが、今は機械でするので早くて便利になりました。

黒川清流公園にもよく行きます。ある日、公園で草花を見てみると、近くにいた年配の男性がある植物を見せてくれました。見た目は特に目立たない小さな草でしたが、この公園の一部でしか見かけない黒川公園の固有種のような特別な植物なのだを教えてくれました。

僕は野鳥が好きなので、母の友達のおばさんが、バード

ルをくれました。小さな楽器で、木と金属をこすり合わせ、鳥の鳴き声のような音を鳴らせました。それを多摩平の森で鳴らしてみるとヒヨドリやカラスが、反応してくれました。普段から見かける鳥でもコミュニケーションがとれるととてもうれしくなりました。

東芝や多摩平団地の一部が取り壊され、広い空き地ができました。最初は、次にそこになんか出来るかと期待していましたが、月日がたち雑草が生いじけると昼には鳥や蝶が舞い、夜には秋の虫の音が聞こえるようになります。空き地のままでも悪くないなあと思うようになりました。

日野市は便利になる一方、自然は確実に減っていると思いますが、僕たちの気持ち次第で自然はまだ身近で、楽しめるのです。



信 頼

日野第四小学校

六年一組 都

愛

「わあ見て見て。」
「こっちにも。あっちにも。」

あじさいの花が満開のころ、家族で浅川沿いの雑木林の公園にはたるを見に行った時のことです。ほたるがびっくりしないように、息をひそめて見ていたのですが、ほたるのまう姿があまりにも美しく思わず、声が出てしまいました。そばで妹が、「ほたるが追いかけてっこしているみたいだね。」

とささやきました。ほたるは楽しそうにまるでおしゃべりしているかのように小さな光をぼつ、ぼつとひからせていました。ため息がでるほどきれいな光景に、見に来た人達を囲む空気と心が一つになったかのようでした。暗やみの中、どの人も笑顔であふれていました。帰り道、自分が住む町でほたるが見ることが本当にすてきに思えて、来年もその次の年も見ることができたらいいなと思いました。ほたるは水がきれい緑豊かな場所しか生きることにはでき

ません。楽しそうにとびかうほたるの姿は、日野の町を信頼してくれているように思えました。それは、かげで愛情をこめて自然を守りお世話をしている人がいるからだと思います。

田舎で米や野菜を育てている祖父は、近年、異常気象のせいかスズメバチやマムシが多いと言っていました。自然を守っていくということは大変なことだろうなあと祖父の姿を見て思えます。草かりに日々のお世話、見えない苦労の方が多いかもしれません。でも愛情をかければかけるほど植物も生き物もその気持ちにこたえて、のびのびと大きく成長してるとは思いません。

近くの公園や通学路には花があふれ、自然を愛し緑を大切にされている方がたくさんいます。私はそのような方々を見習いたいのです。私が大人になってもほたるがま、緑豊かな町であるよう自然を未来につなぎたいです。



きれいなわき水

いつまでも

日野第二小学校

六年一組 梅田悠平

ほくのとなりに住む祖父は専業農家です。ほくが三才頃まで田んぼで米を作っていました。が、今は畑の野菜作りだけになりました。稲刈りの手伝いでコンバインに乗り、小さなアマガエルを二十四匹つかまえた事を覚えています。また秋には稲の上を赤トンボがたくさん飛んでいました。最近では田んぼがなくなり、季節の生き物を見るのが少なくなりさみしい気がします。

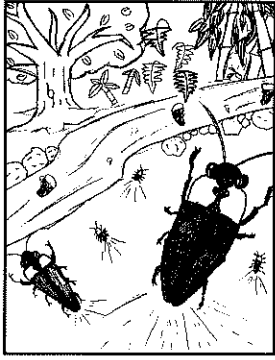
祖父の家の裏にわき水が流れていて、農業用水として野菜を洗ったり、畑まで管をひいて野菜の水まきを使うなど工夫されています。その水は、とてもきれいでカワニナやザリガニ、アメンボなどが生息しています。カワニナはめずらしいので二年前から祖父が集めて飼育し、ホタルの幼虫を取り寄せて成虫に育て、きれいに光るホタルを見ることができました。近くで見た事がなかったのも感動しました。カワニナはきれいな

水と水草で育ちます。すい

皮やキャベツの葉も食べることがわかりました。だんだん大きく育つカワニナを見ているので、ホタルの幼虫に食べられてしまうのはかわいそうですが、ピカピカ光るホタルを見たら、自然や水に感謝したい気持ちになりました。さらさらと流れるわき水や近くに生える大きなけやきの木や、竹林、しだの葉などを見ていると、いつも心が和みます。

イギリスに住む友達がとりに来た時、裏のわき水やザリガニやカワニナを見て、とても興奮して喜んでいました。やはり自然は人の気持ちをいやす源だと感じました。

日野市は、緑と清流の町です。人と動植物と緑と水、全てを上手に残していけるように考えることが重要だと僕はつくづく考えさせられました。



豊かな自然環境の中で育つひの子

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山弘志

日野市環境緑化協会主催の作文集「緑のまち」には、今年度は日野市内の四年生と六年生が二千五百五十四点の作品を応募してくれました。私は、審査委員の一人として、寄せられた作文のうち六百点余りを読ませていただきました。児童は、「緑のまち」作文を書くことで、自分が住んでいる日野市のことを深く考えたり、豊かな自然のありがたさを感じたり、自然と人とのようなにかかわり共存していけばよいのかなどについて考えたりする機会になったと思います。多くの作品の中に、日野市の宝は豊かな自然であるという表現が見られました。また、

児童の皆さんが日野のまちをととても好きで、深い愛着をもっているということをとくさんの作文を読んで強く感じました。

私が読んだ作文の中に、カワセミ、ホタル、ケヤキ、ドンダリ、ハヤ、クワガタ、セミ、タヌキ、用水、湧水、浅川、多摩川、川遊び、清流公園、雑木林、梨園、草花、農家などの名称が頻繁に出てきました。これらの言葉が児童の身近な存在として、日常生活の中で実際に触れたり目にしたりできる環境であることが分かり、日野市の自然の豊かさや自然の恵みに私は改めて感心しました。しかし、ごみ、ポイ捨て、マナー違

反、クリーン作戦、ゴミ拾い、ボランティアなど、豊かな自然に反するような言葉や自然を守るために必要な言葉も見られました。作文の中にこれらの言葉を入れることは、児童が日野をずっと自然豊かなまちのままにしたいという切実な願いが込められているように思います。

今年、日野市市制施行五十周年の年でした。これから五十年先までの社会の中核を担うのは今の児童です。これらのひの子に、「緑と清流のまち日野」の景色を故郷の原風景として記憶に留めてほしいと思います。

緑ヶ丘公園
(日野台2丁目)



地域の自治会と老人会が協力して清掃活動を行っている公園です。

第1・第3日曜日は自治会が、第2・第4日曜日は老人会が担当して毎週活動しています。夏まつりや防災訓練など…地域の行事に頻繁に利用され、子どもたちの遊び場としても大活躍の公園は、日々子どもたちの声が響く素敵な場所だそうです!!

夏休みにはラジオ体操も実施されます。そんな時には子どもたちも進んで清掃をします。



老若男女、みんなが守っている『地域の宝』ですね!!

介

小さなお子さんが帰る時「バイバーイ」と。それに応えるみなさんの顔がなんとも嬉しそうで、誇らしげで…。

熱意で作りに上げた『憩いの場』、それが下郷公園です。

紹

園

『自分たちの地元をきれいに!』をモットーに集まった地元有志の団体が近隣5公園の清掃活動を行っています。朝8時半から4つの班に分かれてそれぞれの公園を清掃し、最後に下郷公園に集合して全員で作業します。終了時刻はいつもお昼近く。

細かい所まで懸命に清掃する姿が印象的でした!!

清掃している最中も親子連れや昼食を取りに来た方が来園して「きれいで安心な公園ですね～」と言っていました。



公

下郷公園
(三沢2丁目)



取材日記

今回は「多摩平第2公園」「緑ヶ丘公園」「下郷公園」の3カ所に取材に行きました。どの公園でも沢山の話しを伺い、とても勉強になりました。そして、とても楽しかったです。また何うかも知れません。その時はよろしくお願ひします。ありがとうございました!! 紹介した公園以外にも、日野市内ではたくさんのボランティアが清掃活動に取り組んでいる公園があります。紙面の関係上、紹介できないのが残念です。これから機会のあるごとに紹介していきたいと思ひます。

公園清掃・花壇植付ボランティア大募集!!

— 表紙の話 —

多摩平第二公園 (多摩平5丁目)

毎月第1・第3日曜日に清掃活動しているのは地域の自治会のみなさんです。小さなお子さんや若者など大勢の方が一所懸命に活動しています。お祭りや防災訓練など地域行事も盛んな自治会で、自分たちの手で安心して利用できる公園づくりを実践しています!!

編集後記

早いものでもう12月、師走はまさに字の如く月日が走り去るよう過ぎていきます!! この時期になると、あれもこれもしなければと…気が焦るのは私だけでしょうか? この慌しい12月を乗りきるために体調を崩さないようにいつも以上に自己管理をしなければと思っています。皆さまも風邪など引かないよう気をつけて下さいね。
[N・M]